

# 社外重役

Selected Clients &amp; Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド  
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F  
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439  
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F  
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

## マーケティング

### ベンチャー企業、大手と連携進む 新規株式公開数、5年で3倍増

新製品開発で事業を起こす「ベンチャー企業」の株式公開数が増え続け、ここ5年間で3倍近くの54社になっている(経産省調べ)。

13~14年型ベンチャーには、過去と違う大きな特徴がある。アイデア商品化に不可欠なIT技術を駆使している点、大手企業が関心を寄せ提携しているという点だ。逆に言えば、新興企業が長所(アイデアやスピード)と弱点(資金、市場開発、信用)を補完したい狙いと、大手には新規事業の手詰まり感で焦りもある、新商品の自社開発には時間とコストもかかる…そこでベンチャー企業の力で補いたいという両者の思惑が一致したのだ。

そのベンチャーと大手とのマッチングが、東京・新宿で朝7時、ベンチャー企業によるプレゼンテーション「Morning Pitch」(モーニングピッチ)で真剣勝負を繰り広げている。毎週、メーカー、商社から金融機関まで、およそ60社が参加し、毎週5つのベンチャーが、自社の技術や商品を売り込む。マッチングを仕掛けるのは複数の証券会社というのも新しく、このような「見合いの場」は、個人投資家(エンジェル)も含めたVC(ベンチャーキャピタル)の応援が当たり前となって、ベンチャー企業家のやる気をいっそう刺激している。その好例が魚の注文システムを開発した「八面六臂」(東京都)というベンチャーで、1億5000万円の資金を調達し価値あるアイデアを証明した。

## 税務会計

### 2013年度査察の脱税総額は145億円 1974年度以来39年ぶりの低水準

いわゆるマルサと呼ばれる査察は、脱税でも特に大口・悪質なものが強制調査され検察当局に告発されて刑事罰の対象となる。国税庁が公表した2013年度査察白書によると、査察で摘発した脱税事件は前年度より5件少ない185件、脱税総額は前年度を29.4%下回る約145億円と1974年度(約123億円)以来39年ぶりの低水準だった。これは、脱税額3億円以上の大口事案が前年度を7件下回る4件と大幅に減少したことなどが要因。

今年3月までの1年間(2013年度)に、全国の国税局が査察に着手した件数は185件と、42年ぶりの低水準だった前年度をさらに5件下回った。継続事案を含む185件(前年度191件)を処理(検察庁への告発の可否を最終的に判断)し、うち63.8%(同67.5%)に当たる118件(同129件)を検察庁に告発した。この告発率63.8%は、前年度から3.7ポイント減少し、38年ぶりの低水準だった2011年度(61.9%)に次ぐ低い割合だった。

告発事件のうち、脱税額が3億円以上は前年度から7件少ない4件にとどまり、脱税額が5億円以上は1件少ない2件だった。近年脱税額3億円以上の大型事案が減少傾向にあり、2013年度の脱税総額145億円はピークの1988年度(714億円)の約20%にまで減少している。告発分の脱税総額は前年度を約58億円下回る約117億円、1件当たり平均の脱税額は3600万円減の9900万円と、1978年度(9500万円)以来35年ぶりに1億円を下回った。

## 今週のキーワード

八面六臂  
(はちめんろっぴ)

食のプロフェッショナルが求める利便性を研究し、情報端末「iPad」を利用したASPサービス「八面六臂」を独自開発。これを介して、八面六臂と飲食店との商品情報に関する効率的なコミュニケーションとディーリングを可能にしたという。この「八面六臂」サービスを背景に、築地市場を中心とする市場流通品と全国の産直商品に関する情報を集積し、自社の物流センターを通じて、飲食店に商品を届けている。大手クレジット会社JCBとの提携も決まり、今年中に金融システムの利用店舗を2000店以上に増やそうと狙う。